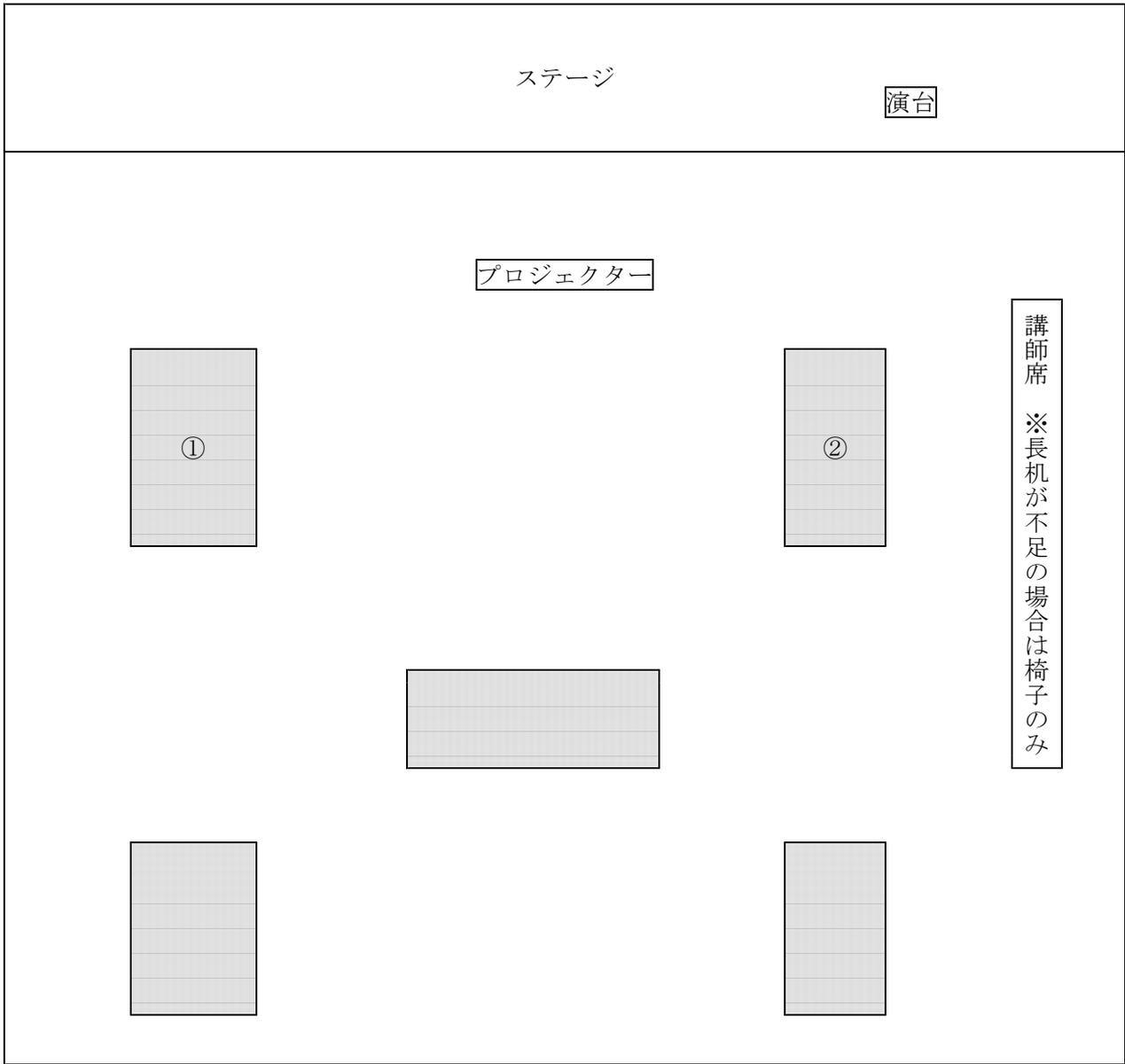


行事名	日向のまちづくりを考える～駅前再開発と祭の復興～		場所	体育館
日時	平成27年9月29日(火) 14:10～16:00 [5・6校時]		対象者	第9学年(101名)
目的	1 将来どう生きるかを学び、考え、悩むことで、自分の生き方を考える。 2 学習に対する興味・関心呼び起こし、学力向上に結びつける。 3 日向のまちづくりについて考えながら、多様な価値観に触れ、正解は一つではないことに気づき、より広い視野で物事を見たり考えたりする力を培う。			
事前	生徒	1 よのなか教室4の概要を説明し理解させる。 2 1グループ4名程度で意図的グループ編成を行う。		
	内 容		留 意 事 項	
実 施 内 容	14:05	1 グループごとに分かれて整列する。	○ 小グループごとに1列で整列させる。	
	14:05 【5分】	2 始めのことば【飯干】 3 講師紹介【飯干】 4 趣旨・学習の流れ説明【飯干】		
	14:10 【20分】	5 昔の日向市を知る。 (1) 再開発前の日向の現状について説明を聞く。 (2) 当時の課題について知る。	○ プレゼンができる準備をしておく。 ○ 講演後、プレゼン資料を配付する。	
	14:30 【30分】	6 日向のまちづくりについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">駅前のにぎわいを取り戻すためにはどうしたらよいか？</div>	○ 鉄道高架前ということをも前に話し合うことを伝える。 ○ 講師及び職員は、巡回しながら、適宜話し合いを支援する。 ○ 話し合いが活発に行われているグループを把握し、後半の発表に生かす。	
	15:00	7 休息【10分】		
	15:10 【30分】	8 グループごとに話し合った内容を発表する。	○ 発表はその場に立って、マイクを使って行う。 ○ 1グループ1分程度を予定するが、残り時間や話し合いの密度によっては、意図的指名で行う。	
	15:40 【15分】	9 駅前再開発等に伴う日向市の実際の取組を聞く。	○ 日向市の取組と自分たちの考えを比較して聞くことで、多様な考え方に触れさせたり、自己の考えを深めたりする場とする。	
	15:55	10 まとめ話を聞く。	○ 以下の3点を学習のまとめとして、人生や進路選択と関連づけて押さえる。 ア 多種多様な考えがあり、それぞれ良さもあれば課題もあり、正解は一つではないということ。その都度熟慮してより良い選択をし続けてほしいということ。 イ 真剣に考えるからこそ、様々な気づきがあること。 ウ 今回考えたように、自分の生き方も真剣に考えてほしいということ。そのための材料として、見聞や体験は大切だということ。	
	16:00	11 お礼の言葉	○ 代表生徒1名が行う。	
	事後	1 生徒に学習のまとめをさせる。 2 生徒の学習のまとめを講演者に届ける。 3 通信等で保護者に発信する。		

準備等	<p>1 講師打合せ【飯干・岩崎】</p> <p>2 会場設営等【飯干・椎葉】</p> <p>ア 会場設営（机、椅子、演台、掲示物、スクリーン、プロジェクター、表示）【飯干】</p> <p>イ 放送（マイク2本）【飯干が放送委員に依頼】</p> <p>ウ 講師用飲み物、おしぼり【飯干が事務に依頼】</p> <p>エ 片付け【飯干が指示】</p> <p>オ 司会者の指導【飯干】</p> <p>カ 掲示物、表示の準備【飯干が生徒に依頼】</p> <p>キ 必要な機器の設置【椎葉】</p>
	<p>3 講師等接待【春田】 ※講師控室は校長室（使用できない場合はミーティングルーム）</p> <p>ア 校長室から会場への案内、会場から校長室への案内【生徒への指導：飯干】</p> <p>イ 飲み物、おしぼり【飯干が事務に依頼】</p>
準備等	<p>4 記録（写真、VTR）【吉田、池田】</p>
	<p>5 ワークシート作成【飯干・橋口】</p>
	<p>6 生徒の学習のまとめコピー【1・5組：吉田・岩崎・橋口、2・5組：池田・椎葉・橋口、3組：春田・飯干】</p>
	<p>7 礼状作成【岩崎】</p>
	<p>8 学習のまとめ作成、発送【飯干・春田・椎葉】</p> <p>ア 写真、感想をファイルに綴じて発送する。</p> <p>イ 校内掲示物を作成し、掲示する。</p>
	<p>9 駐車場【飯干】</p> <p>ア 職員へ前日のお知らせ、依頼をする。</p> <p>イ 表示をして場所を確保する。</p>

会場設営図



は、資料展示用の長机を表す。

※①・②は、前半の説明後に設置する。
それまでは、生徒の席に邪魔にならぬよう横に置いておく。

※5カ所の机には、同じ資料が置かれている。



日向商工会議所の黒木専務理事から、昔の日向の街の賑わいと、
その後の街中空洞化の歴史を聞く。





この日は、グループディスカッションの個別指導のため、

日向市役所ならびに日向商工会議所から、

12名の方々に指導していただくことになった。



3クラス 101人の生徒たちは体育館で説明を聞いた後、

グループに分かれて議論した。



「駅前のにぎわいを取り戻すためにはどうしたらいいか」という
テーマでの議論の結果を発表する、各グループの代表の生徒たち。





第4回「よのなか教室」 職員評価

1 計画や当日までの動き

- ① 打合せを数回行った。時間的なこと等、大変な部分もあったが、打合せを重ねれば重ねるほど、イメージが共有できたり、様々なアイデアが出たり、勉強になったりと有意義なものであった。
 - ② 小グループによるディスカッション形式を取り入れた。担当者を毎回変えることは、一つの考えに偏るというリスクが緩和され良いと思う。
 - ③ 新しい手法を用いる際には、子どもたちに事前にリハーサルをしておくとうまいと感じた。例えば、今回はKJ法に似た形を用いたが、事前に経験させていたのは、活動を円滑にするために良かったと思う。
 - ④ 数回に渡って先生方に提案してきた。その都度、意見をいただいたことは担当者として嬉しかったし、ありがたかった。「みんなでやっている」という感じを持てた。
 - ⑤ 講師の案内、会場設営、進行、代表あいさつなど、生徒に多く関わる機会を設けたのは良かった。今後も、様々な場面で、まず「生徒ができるか？」ということを考え、経験値を上げさせたい。そうすることで、生徒自身の当事者意識の高まり、意欲の喚起にもつながると思う。
- ❶ 「担当者に任せっきりになった」という反省があった。担当者も積極的に指示や依頼を行っていくことも必要である。

2 内容について

- (1) テーマ
 - ① 日向市について考えることは大切なことである。次年度も続けていきたい内容である。
- (2) 学習形態
 - ① グループ活動では非常に活発に話し合いができていたので良かった。
- (3) 内容理解
 - ① 日向市が賑わっていた時代を学べたこと、多様な考え方を学べたことなど、生徒たちの視野が広がる活動になった。
 - ❶ どこかの自治体の成功例を示すと、子どもたちのイメージももっと膨らんだかもしれない。
 - ❷ 講師の前半の説明は、子どもたちには少し難しかったように感じた。
 - ❸ 「駅前のにぎわいを取り戻すためにはどうすれば良いか？」というテーマであったが、『現実的に考える』という視点を与えれば良かったと、担当として反省した。
 - ❹ 前半の講話（昔の日向市を知る）と、まちづくりの生徒のディスカッションを、もっと効果的に関連づけできると、生徒のアイデアもより現実的なものになったように思う。

3 当日の動きについて

- ① 生徒は自分の役割を理解して活動していた。
- ② 会場設営にも多くの生徒が協力的に関わっていた。
- ❶ 早めに動く、計画的に動くということは今後も意識したいことである。

4 事後の活動について

- ① 担任の先生方が、生徒に感想を書かせ、早く回収してくださったおかげで、講師の方々に早く届けることができた。
- ❶ 活動のまとめにも生徒の活動を入れたい。製本するだけでもいいので。

5 その他

- ❶ 事務室の先生方に頼ることが多かった。湯茶や物品の購入は、今後学年で行う。